

Aphaenogaster senilis

Mayr, 1853

脚が長く落ち着きのないハンターで、飛ぶのではなくコロニーを分けて広がり、液体の餌を小さな破片に含ませて巣へ運びます。



写真：Diego González Dopico, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

21-27 °C

巣の中



巣の湿度

50-65 %

巣の中



休眠

12-16 °C

12月 - 2月



結婚飛行

結婚飛行なし

コロニー分裂



働きアリ

5-7 mm

どれも同じ大きさ



女王

8-10 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ3,000匹規模

成長速度：速い



脱走リスク

中程度

アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な時期は天気で決まるため、お住まいの地域では早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

昆虫

砂糖

おすすめの巣

1. Ytongの巣
2. 自然再現型のセット
アップ
3. アクリル製の巣

この評価の理由

- ⚠️ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠️ 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

液体の餌は、砂粒や小さなスポンジ片をそばに添えて与えましょう。働きアリは液体を口移しで受け渡せないで、これらの破片に餌をしみ込ませて、女王アリやブルードのところへ運びます。ある飼育者は、何も添えない皿が、かわりにコケや床材の下に埋められるのを見ました。

注意

結婚飛行はなく、女王アリが単独でコロニーを創設することもないため、この種はコロニーの一部として、女王アリ、働きアリ、ブルードがセットで販売されます。引っ越しのときは、試験管を新しい巣につなげるのではなく、採餌エリアに中身を空けましょう。引っ越しの最中に働きアリ同士が攻撃し合うことがあるからです。